

1968. 6. 15.

No. 84

発行所 福生町役場
 発行兼 調 査 室
 編集人
 電話51-1511・内線220

一町の人口

昭和43年 6月1日現在
 住民合帳人口36,390人
 男 17,898人
 女 18,492人
 世帯数 10,673戸
 (増) 476人
 (減) 348人



握力計もこわれそう

なごやかなお母さん方の体力テスト

5月23日、第1小学校体育館で、東京都保健所主催の動く保健所がおこなわれました。この日はレントゲン車やキッチンカー、胃カメラも出動し、すべての健康相談を受けましたが約3,000人が集り、みんな真剣に健康相談を受けていました。

特にお母さん方に人気のあったのは、「あなたの体力テスト」で、みんなたくましい腕で握力をはかったり、肺活量器を一気に動かすなど、戦後強くなったといわれる自慢の力？を発揮していました。みなさん、暑い夏がやってきますが、自分の体力を知り健康管理には特に気をつけてください。

季節の話題

つゆ(梅雨)

うっとおしい梅雨がやってきました。年によって雨の少ないつゆ、もありますが、六月中旬から七月中旬まで毎日雨がちな天候で、とかく気持もふさぎます。

これは北のオホーツク海高気圧と南の小笠原高気圧にはさまれ、気圧の谷ができ梅雨前線が日本をおおい停滞するためにおこるものです。よく7月になって雷がなるとつゆは明ける、といいますがこれは梅雨前線が北上し日本の上を去るときに雷鳴をともなつた雨が降ることをいっただけです。

ともあれ、この期間は家中はじめじめするし、いたる所にかびもはえ余くいやなものです。だからといって、つゆがない方がいいとはいえません。雨がないう西日本では田植えがむづかしくなり、水力発電や夏を前にして水道などの日常生活にも関係してきます。

しかし、これも程度の問題で、つゆあけの頃の大雨は水害をもたらし、また八月に入っても夏らしい天候にならないと農作物は被害をこうむります。

さて今年のつゆはどうでしょうか。わたくしちの生活に恵みを与えてくれるつゆであってほしいですね。



再び町政を担当する にあたって

福生町長 石川常太郎



町のみなさん、緑したたる季節になりました。

私こと

この度多くの方々のご推せんとご支援をいただき、再度町政を担当させていただきますことになりました。

何卒、倍旧のご支援とご協力をお願い申し上げます。

わたくしは非才にして鈍才であります。幸い四カ年の貴重な体験により、町の現況や将来についてある程度その姿をつかむことができました。わたくしは町の小使として、また番頭として、より住みよい町づくりをめざし、みなさまのご協力を得て自信をもって

町政に体当りしていく覚悟です。

およそ町長という職は地方公務員であって、「町を統轄しこれを代表する」と法律で定められております。町を代表するという以上、四六時中その言動をつつしみ、身を修めなければならぬもの、と、わたくしなりに解釈しております。

ですから常に内に省りみて身を修め信用第一と心がけることが、わたくしのとるべき態度の第一歩と自覚している次第です。

さて今後四カ年担当させていただきますが、いったいどんな仕事ができるでしょうか。

やるべき事は山積してあります。しかし財政力は弱く、税収はわずかか億一千万円です。さらにむづかしい国や都の法律や規制があって、自治体といっても、わがままばかりはいってはおられず、一人歩きできません。ですからどうよきも国や都からより多くの補助金をもらおうと心がけなければ、より以上の事業ができませんが、幸い四カ年の間に町以外の関係者

の方々から特に厚いご支援をたまわっておりますので、補助金等についても非常に意を強くしている次第です。

そこで町としてやらなければならない、義務的な事業である学校の整備などはなるべく早くなしとげたいと思います。けれどもわが町の人口は年々増加し、学童数も増えておりますので、そのために小学校が五小、六小と増設する必要があります。現在着々その計画を進めております。

ですから、これからは学校や体育館を建てたり、道路を舗装し、交通安全の施設をつくったり、さらに若い人のためにプールや図書館、研修のための集り場所、老人の方々には楽しい憩いの場所である福祉会館などもつくりたいと思っております。消防署設置準備も今年からその第一歩を踏み始めました。

また、将来の住みよい栄える町づくりのために、下河原の開発や福生駅東口の開発も同時に進めていかなければなりません。

すべての事業は住民の福祉と町の発展のためにそれぞれ相互に関係しておりますので、どの部分が遅れても支障があります。ですから基本的な事業は、頭を揃えて進まなければなりません。

すべてを同じに進めることは困難です。ただ少くともある事業が進められる時には、それと関連した他の事業も同時に計画されているべきではありません。

わたくしは福生町の未来の栄光の一コマを間違いないと担当していくため責任の重さをしみじみと cảmしめております。

最後に福生町が西多摩の中心都市としてさらに発展するためには、どうしても青梅線の東京直進の増発と西武線を福生駅まで延長してもらいたいと思っております。

福生駅を中心とした西口、東口の商店街はこれらの交通機関を整備されることにより大きく姿を変えてきますし、そのことがまた住みよい町づくりの大きな事業であると思っております。

この問題については、わたくしはみなさんと一緒になってその実現に努力します。町長個人の力は弱いものです。町民のみなさんの大きな協力とバックアップがあって、はじめて町長の力は大きな力となります。

わたくしは今後四年間みなさんと共に力を合せ、安全で健康で便利なしかも快適な住みよい町、栄える町づくりのために働く覚悟です。

どうぞよろしくお願いいたします。

8月3日 — 7日 第18回 福生七夕まつり

本格的な夏の訪れを知らせてくれる福生七夕まつりは、毎年7月7日を中心に行なわれていましたが、今年7月7日が参議院選挙にあたりますので、1カ月遅らせ8月に実施することになりました。

今年は前後祭として、福生音頭パレードもおこなう予定です。ご期待ください。



常任委員の改選にあたって

福生町議会議長 田村 匡雄
副議長 岩田 博



田村 議長



岩田 副議長

共努力をしていきたい所存です。町民みなさまの絶大なるご協力とご援助をお願い申しあげ、また改選による新しい委員会の組織をご紹介してご挨拶といたします。

○印は委員長 ○印は副委員長
総務委員会

- 加藤 清一、石川 信彥
- 仲沢 弘之、中村 国太
- 大野 行夫、岩田 博
- 大沼 秀伍、関 米吉
- 建設委員会
- 高波 忠、末次 性男
- 石川 繁治、伊東忠次郎
- 中西 虎藏、森田 秀雄
- 塩野鉄之助、川杉 重雄
- 厚生委員会
- 高橋 千春、中里 元一
- 小坪 仁七、水谷 清一
- 松本平九郎、杉本 皆雄
- 小林 暢吉
- 議会議運管委員会
- 小川 暢吉、高波 忠
- 伊東忠次郎、高橋 千春
- 大野 行夫、高橋 清一
- 福生伝染病院組合議会議員
- 田村 匡雄、杉本 皆雄
- 水谷 清一

町民のみなさまに謹しんでご挨拶申し上げます。
この度の福生町長選挙に、石川町長が再選され、五月二十七日に臨時議会が招集されました。これを期に議会内の常任委員会委員等の任期満了に伴う改選をおこないつぎのとおり決定されました。
もとより町の政治は議会や町の理事者のみで行なえるものではなく、町民みなさまのご協力なくしては、町を進展させ、住みよくなることはできません。この意味で、わたくし共、議会人の一人として、その組織と職分を十分に生かし今後

狭山火葬場組合議会議員

田村 匡雄、松本平九郎
小坪 仁七

青梅、羽村、福生地区都市下水道組合議会議員

田村 匡雄、塩野鉄之助
高波 忠

西多摩衛生組合議会議員

田村 匡雄、杉本 皆雄
中里 元一

東京都計画地区審議会委員
田村 匡雄、高波 忠
石川 繁治、塩野鉄之助

七月七日は参議院議員選挙

選びぬけ 悔いなく 六年まかす人

参議院は全国区から選出される百名と、地方区から選ばれる百五十名により構成されていますが、任期は六年で三年ごとに半数づつ改選することになっています。ことしの選挙は六年前の昭和三十七年に選挙された議員の任期満了に伴うもので、全国区五十一人、東京地方区では四人が選挙されます。参議院は衆議院の行きすぎを是正したため、議案の審議をより慎重にさせるための良識の府として設けられているものです。その職責を十分発揮できる人を選びましょう。

投票日は7月7日午前七時から六時までは町内各投票所でおこなわれますが、投票の順序は、東京都選出の議員(丁字青色の投票用紙)だ

投票は地方区、全国区の順
投票は7月7日午前七時から六時までは町内各投票所でおこなわれますが、投票の順序は、東京都選出の議員(丁字青色の投票用紙)だ

なお、指定病院に入院している人、指定老人ホームなどにいる人も不在者投票をすることがあります。そのほか、手がわるかつたり、目が悪い人のために代理投票や点字投票もありますので、棄権せず投票してください。

該当者で投票所入場券のこない人は選挙にお問合せを
投票所の入場券は六月二十日過ぎに職員が配布しますが、該当者でない人は、選挙管理委員会にお問い合わせください。

町長選挙の投票率は 五三・九%

福生町々長選挙は、五月十八日おこなわれましたが、投票結果はつぎのとおりでした。
投票総数 一、二〇六四
有効投票 一一九二八
無効 一三六

石川常太郎 九、三六〇票
岡本千代治郎 二、五六八票

投票区別投票状況

投票区	当日有権者数	投票者数	投票率	区
1	3,184	1,842	57.9%	地志1. 長1. 田本1. 永平2. 中央3. 本6
2	3,280	2,027	61.8	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
3	3,618	2,057	56.9	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
4	5,016	2,451	48.9	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
5	3,047	1,465	48.0	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
6	2,194	1,242	56.6	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
7	2,005	980	48.9	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南
計	22,344	12,064	54.0	加1. 藤野2. 見台3. 富橋4. 南5. 南内6. 南

建設事業す、七

昭和四十二年 度 下半期の財政公表

このほど昭和四十二年度下半期(十月〜三月)の財政事情が公表されました。

内容はどのくらいお金が入り、どのように支出されたかの状況です。すでに昨年九月末日で地財法は解除になり健全財政への第一歩をふみだしたわけですが、下半期も教育施設や道路舗装を中心に事業がおこなわれました。

なお四月から五月までの出納整理期間の金額は入っていませんが五月末日には歳入は予算額をこえ、歳出は予算額に近い支出となることが予定されていますので、昭和三十八年以来五年ぶりで黒字財政になることは確実です。

一般会計総額は

七億七九四九万円

町の財政もみなさんのご家庭と同じように入のお金と使うお金とを分けていろいろな財政計画をたてます。これを当初予算といって四月からはじめますが、このお金だけでは足りませんが、そのお金の追加予算をつくりまします。

昭和四十二年度は当初予算は四億二九五万八千円でしたが、その後五回追加され、総額は七億七九四九万円となりました。

三月末では歳入は予算額の六七・四％の五億二五九万円、また歳出は六六・二％の五億一五七九万円程度ですが、これは予算額で大きな位置をしめる国庫支出金(国から町に支払われるお金)や町債(国などから借られるお金)が四月に入つたためです。

またこれに伴い第二小学校分校用地や第三中学校用地取得などの支払が四月に入つてからおこなわれたため、歳出額の予算に対する割合も低くなっています。これは毎年みられる傾向で、五月末には歳入は予算額を大中に上回るものが予想され、五年ぶりに黒字財政は確実です。

一方特別会計は、だいたい予定でおりの数値で、各会計とも相当額の繰越が予想されます。

お金を

どう使ったか

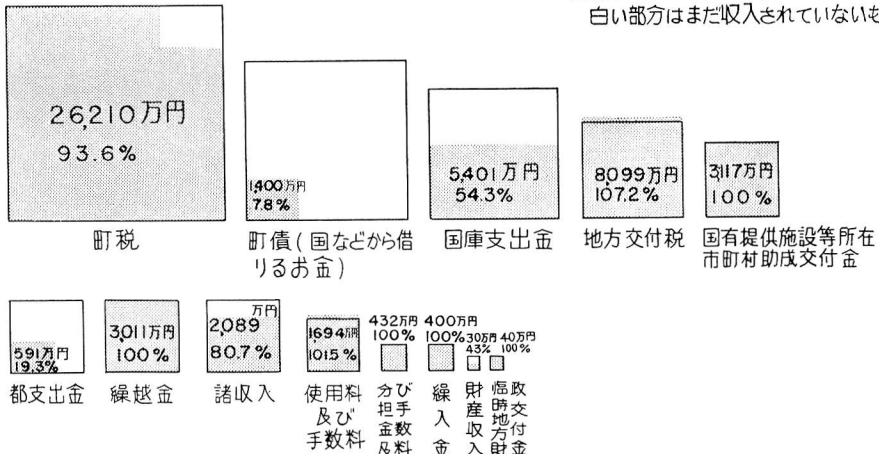
納めていただいた税金や国や都の補助金はどう使われたか百万円以上のものをあげてみました。

- ▽ 町道39うろ号線舗装 二二五万円
- ▽ 13号、85号線舗装 一五〇万円

- ▽ 169号線舗装 一二三万円
- ▽ 11号、13号線舗装 二二万円
- ▽ 町道1991号線舗装 九〇五万円
- ▽ 4号線改修工事 一九四万円
- ▽ 85号線排水工事 二〇〇万円
- ▽ 横田周辺排水路(その3) 二、五七〇万円
- ▽ 福生緑地水泳場基礎工事(その1) 一、六五〇万円
- ▽ 第二中学校体育館 二、一六九万円
- ▽ 第一小学校体育館 一、八三七万円
- ▽ 第四小学校建設 三、三六二万円
- ▽ 第五小学校用地買収 七、四四三万円
- ▽ 第二中学校敷地買収 七、二八一万円
- ▽ 防水槽二基 一五一万円
- ▽ 消防自動車購入三三〇万円
- ▽ 消防サイレン設置 一二二万円
- ▽ 衛生組合分担金 三、七三万円
- ▽ じん芥処理委託料 一、二二一万円

歳入状況

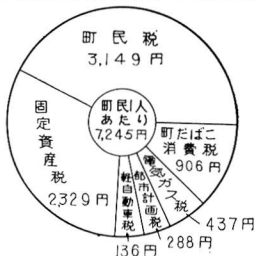
収入済額
白い部分はまだ収入されていないもの



特別会計収支状況

3月末現在 単位千円

区 分	取 入 額	支 出 額	残 額
国 保 会 計	88,086	74,397	13,689
福生都市計西 区西整理会計	158,430	150,307	8,123
公益質屋会計	1,956	1,855	101
と畜場会計	25,370	23,380	1,990



町税は一人当り
七二四五円

みなさんの納めていただいた税金は一人当りどのくらいの負担になっているか三月三十一日現在の人口で算出してみました。昨年より一〇・二三円高くなっています。



7月完成をめざし進められた町民プール工事

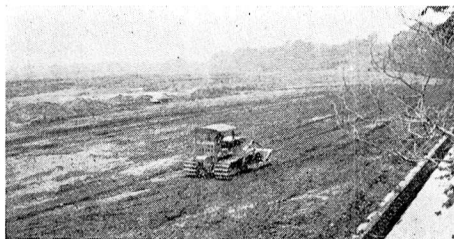
起債の状況

単位円

事業名	未償還額
庁舎建設事業債	18,803,489
消防施設債	750,000
都市計西事業債	30,473,314
公営住宅事業債	4,757,101
義務教育施設整備事業債	71,783,049
準公営企業債	10,357,224
公営企業債	314,984,591
合 計	451,908,768

町が学校や道路などの事業をする場合に、事業資金として大蔵省や銀行から借りているお金は別表のとおりです。普通十年から二十年で返済しますが、この負債を公債と呼んでいます。

町債の状況



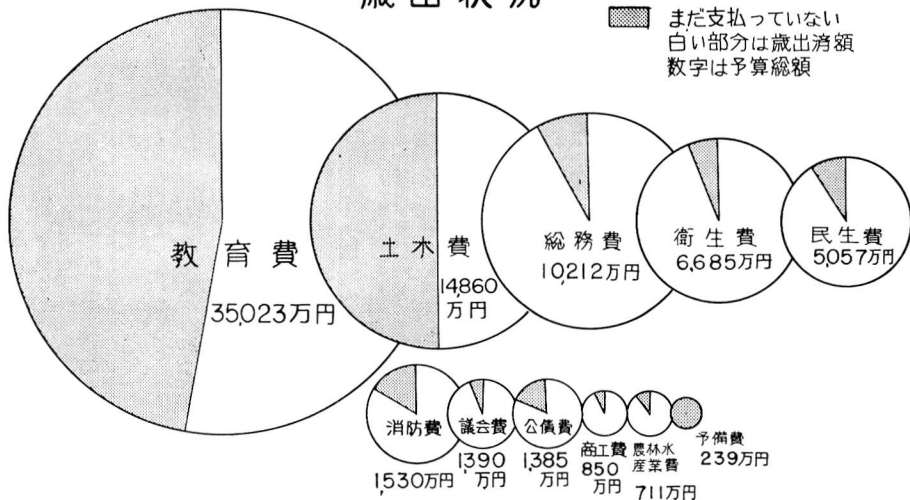
整地進む第5小建設用地

町有財産の状況

①土地建物	土 地	建 物
庁舎関係	4,128.3m ²	3,297.8m ²
学校関係	114,617.5m ²	24,569.0m ²
公共用財産	148,175.0m ²	8,426.5m ²
空地	7,435 m ²	
②物 品		
乗用車	2台	ジープ 1台 会計機 1台
貨物自動車	4台	グレーダー 1台 ピアノ 12台
消防自動車	5台	ロードローラー1台 その他機械類68点

歳出状況

まだ支払っていない
白い部分は歳出済額
数字は予算総額



赤痢・日本脳炎の流行期がきました

十分きをつけて 健康で楽しい夏を

夏期は特に体力の低下をきたしやすく、また、伝染病、食中毒などが発生しやすくなります。十分注意し、わたしたちの身体を守りましょう。

赤痢、日本脳炎にかからぬために

☆赤痢
夏は消化器伝染病が多発する時期です。とくに赤痢は消化器伝染病の王様です。赤痢菌は大便の中だけにあってハエが運搬役となり、食べものや飲みものなどについて口から入りお子さんや学童のいる特に幼いお子さんや学童のいる

家庭では注意してください。症状は、だいたい急に寒けがして頭痛をおこし、熱が三十八・九度になり、腹痛がして、下痢症状となり、さらに粘液状の便が出てきて血がまじるようになります。

- 予防には
- 1、手を洗う
 - 2、ハエ、ゴキブリ、ネズミを退治する
 - 3、体力をつける
 - 4、おかしい時はすぐ医者へ

☆日本脳炎
患者の卵が死亡し、卵が言語障害、知能障害、運動障害などをお

こす恐ろしい病気で、症状は、はじめに寒け、ふるえなどと共に三十九度から四〇度の高い熱がでて頭痛、めまい、はきけをおこします。

- 予防には
- 1、予防注射を受ける
 - 2、蚊にさされないようにする
 - 3、過労をさける。睡眠不足などで体力を弱めないように
 - 4、こどもさんは暑い日は長時間、間帽子をかぶらずに遊ばないように

つぎの点に注意しましょう。
2、なまものはできるだけ調理し、早く食べ、残さない。
3、冷蔵庫に食べものを保存するとき、温度を摂氏十度以下(普

通五度位)にしておくこと。また冷蔵庫をあまり過信しないこと。冷蔵庫は食物がくさるのを遅らせるだけです。
4、手を始め、食器、調理具はよく洗って消毒すること
5、オデキ、化のうした傷、ノドハナの中、耳の中には食中毒の原因菌がたくさんいるから注意すること
6、ハエ、ネズミ、ゴキブリを退治すること
7、危険な薬品を調理場におかないこと

食中毒を防ごう
食中毒は細菌や悪い物質のついてる食物を食べておこる病気で、

食中毒をおこしやすい食べものたこ、いか、あおやぎ、貝柱、まぐろ、あじ、さつまいぼ、さくらわ、冷やっこ、野菜サラダなど

七月から 町民税、都民税の納税がはじまります

今年度の町民税、都民税は三月の申告にもとづいて、例年のとおり、七月、九月、十一月、一月の四期にわたっておさめていただきます。

納税通知書は七月一日前後に納税組合に加入している納税者は納税組合長さんをつうじて、また納税組合に加入していない納税者に対しては直接郵送で届けられますが、七月十日過ぎても納税通知書が届かない場合は税務課町民税係にお問い合わせください。

昭和43年度スポーツ活動

＝みんなでお出かけください＝

昭和43年度のスポーツ活動が、つぎのとおり決まりました。

だれでも参加できますので誘いあってお出かけください。なお、指導等は福生町体育指導委員が行ないます。直接おかけください。

- 活動予定
- ▷ 体操とフォークダンス 婦人を対象に毎月第1木曜日 午後7時、第3土曜日 午後2時から福生町武道館で行なう
 - ▷ 卓球教室 6月から毎月第3木曜日 午後7時、於2中体育館
 - ▷ バレーボール 6月から毎月第2木曜日 午後7時、於1小体育館
 - ▷ バトミントン 6月から毎月第4木曜日 午後7時、於1小体育館
 - ▷ 水泳教室 8月に5日間おこなう。於町営水泳場
 - ▷ 歩け歩け運動 春、夏、秋、冬、各一回草花丘陵を歩く
 - ▷ PTA親善ソフト、バレーボール大会 10月10日(体育の日)於校庭
 - ▷ 卓球大会 10月 於2中体育館
 - ▷ バレーボール大会 10月 於1小体育館
- この他、体育団体がつぎのような活動をおこないます。
- ▷ 陸上選手権大会 主催 福生町陸上競技協会
 - ▷ 春、秋野球大会 主催 福生町野球連盟
 - ▷ 柔道教室(毎週火、土、福生町武道館で練習) 主催 福生町柔道会
 - ▷ 弓道練習 主催 弓道連盟
 - ▷ スキー教室 主催 スキー連盟

福生町消防吏員募集

消防署を設置するため福生町消防吏員をつぎにより募集しますので、希望者は応募してください。

1. 応募資格
- (1) 昭和43年8月末日現在で30才未満の男子
 - (2) 学歴 高卒以上の学歴を有する者

- (3) つぎの各項に該当しない者
 - ア 禁治産者及び準禁治産者
 - イ 禁固以上の刑に処せられ、その執行の終るまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ウ 日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊するこ

とを主張する政党その他の団体を結成し、または加入した者

2. 試験の方法
 - (1) 筆記試験 消防吏員として必要な一般教養について高等学校卒業程度の択一試験および作文試験
 - (2) 身体検査
 - (3) 口述試験
3. 募集人員 8名
切 7月15日詳細は調査室職員係へ

じん芥停留所をきれいに 危険物収集日は毎週木曜日

ごみの収集については、定位置持出しにより毎日収集していますが、最近停留所の汚れがめだちます。夏をむかえ、ハエや蚊の発生源にもなりますので、いつもきれいにいたしましょう。

▽台所から出る残飯はよく水をきってから出してください。

▽ポリバケツにあふれるほど、ゴミを入れないでください。いつもふたをきちんとしてください。

▽暑くなりますと、台所のゴミはすぐ腐りますので、毎日だしましょう。

▽ゴミを出したらポリバケツはときどき洗ったり消毒をしましょう。ハエや蚊の発生源になります。

▽日曜、祭日を除く毎日の収集ですが、毎週木曜日は危険物(もえない物で、灰空びん、空かん、ガラス等)だけの収集日です。木の枝や草など焼却できるものを持ちだす家庭がありますが、絶対に出不さないようにしてください。灰を出す場合は、ポリバケツに直接いれないで、不要な袋か、箱に入れてそのまゝ持ち運びできるようにしてください。

公衆電話はみんなのもの =いたづらはやめてください=

最近、町の公衆電話がちょっとした利用上の不注意や心ないイタズラで、しばしば使えなくなり全く困っています。とくに駅周辺の青電話は、利用回数が多く、電話局では、毎日巡回して調べていますが、毎月平均二回の故障があります。つぎの点に十分ご注意ください。

- ▷ お金の投入口には、まがった10円玉を無理に押しこまないこと。
- ▷ 投入口にマッチ棒や紙クズをつめこんだりしないてください。
- ▷ もし故障の場合は、ほかの電話から「局番なしの113番(故障係)へご連絡ください。なお、緊急の場合、青電話から110番、あるいは119番へかけるときは、受話器をあげて、青電話のすぐ右にある赤色の「緊急報機」の110番(警察)あるいは119番(火事)を廻すとつながります。10円をお金の投入口に入れる必要はありません。



▽容器には必ず町発行のステッカーを貼り名前を明記してください。ステッカーを貼っていないものは処理いたしません。

▽新しい福生町都市計画図(一部三五〇円)ができました

このたび新しい福生町都市計画図ができました。この地図は昨年変更された加美平、武蔵野台区画整理地区内をはじめ、福生町の用途地域および都市計画街路、公園緑地などがきれいに色刷りされ建ぺい率も一目でわかります。

福生駅前の田村書房で一部三五〇円で販売されており、ご希望の方はお求めください。

牛浜駅前 公衆便所が完成

このたび牛浜駅前に公衆便所ができました。

これは牛浜駅が橋上駅舎で便所をつくるのができないため、みなさんの便所設置の要望が強く、町と国鉄で話し合い、土地は国鉄が無料提供し、町が工費七〇万円をかけてできたものがつきました。よこさないように使いましょ。

Aクラスは福生町役場が優勝 体協旗争奪春季野球大会

福生町野球連盟主催による春季野球大会は、5月5日から毎日曜日24チームの参加により福生グラウンドで各クラスに熱戦が展開されましたが、6月3日決勝戦がおこなわれAクラスで福生町役場、Bクラスで加美平チーム、Cクラスで東クラブが優勝しました。スカーフはつぎのとおりです。

- Aクラス 福生町役場4——3 ザンジバー
- Bクラス 加美平5——4 球友会ベアーズ
- Cクラス 東クラブ2——0 交運社



鍋1町会で町内一斉消毒

6月9日、首都美化モデル地区になった鍋1町会では、市例の町内一斉消毒をおこないました。



これは蚊やハエの撲滅には全家庭で一斉に消毒しなければと、すでに8年前からおこなっているものです。快晴に恵まれたこの日は、朝から消毒機の音が町内に鳴りひびき、家々はもうもうたるきりにつつまれ、役員さんも汗だくだけの活躍でした。

首都美化モデル地区になった本年は、1年間毎月第2日曜日は一斉消毒、その他の日曜日は組長が消毒液を配布し、各家庭でおこない蚊やハエの撲滅をはかる計画です。なお、費用は衛生費として毎月30円6カ月間徴収しています。



この人に聞く

福生の百年(その1)

⑭

渡 辺 八 三 郎 氏
明治13年生 89才



明治百
年の年を
むかえ、
福生町の
百年につ
いていろ
いろとお
話をお伺いすることにしました。

第一回は牛浜の渡辺さんを訪れ昔の福生町の様子を語ってもらいました。

はじめに渡辺家に保存されている安政六年の大水の絵を見せていただきます。

絵は、現在の牛浜五日市街道沿いに大水が出て、人々が困っており、道に沿って、下駄屋、建具屋、藤屋、万屋、油屋、かど屋などの店が描かれています。

「この絵はだれがかいたのですか」

藤雲嶺という人です。この人は私のおじさんが江戸へ行って知りあった人で、吉良方の小林平八

郎の末えいということですが。わたしのこどもの頃も、大雨のたびに原ヶ戸からわきでる水に悩まされましたが、当時もすこかったんですね。

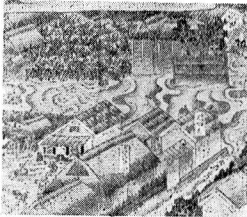
「渡辺さんの家は通称ぼくろうといわれていますが」

ええ、わたしの家では昔、牛や馬の仲買いをしていたので。ですからわたしのおじさんもよく江戸へ出かけ、この絵かきと知りあいてきてかいてもらったのです。「絵を見ますと、牛浜にはいろいろなお店が並び、当時でもだいたいにぎやかだったようですが」

そうですね、奥多摩から流されたいかだは、ちょうどこのへんで夕方になり、かど屋やら屋(旅館)に泊ったし、馬方はここで休んだのでしょう。馬立所というのは馬をつないで休ませる場所です。の駐車場です。

「二八そばやというのは……」

そば粉が二、うどん粉八分のそばを売ったそば屋のことです。



洪水の絵(一部)

「そうすると、牛浜は昔の商店街ですね。」

明治の中頃までは、さかたもです。

「五川上水を舟で荷を運んだというですが」

明治のはじめで、二・三年で止めたが、いまの牛浜橋の下にある階段は、その時の登り場所です。から東京への道中と、青梅から立川府中へ通ずる道路の交る所で、また多摩川を流れるいかだの休み場所でもあったのです。それが明治二十七年青梅線が開通し、だんだん姿も変わってきました。

当時青梅線の駅は、いまの福生と熊川につくよう田村さんや石川さんが働きましたが、熊川は地主の反対で拜島にできなかったので、牛浜は駅ができなかったため、だんだんさびれてしまったが昭和十九年に陸軍の飛行場のため、やっと牛浜に駅ができたのです。

「昔の多摩川は……」

多摩川は水も豊か魚も群れをなし、川を渡るには渡し舟でした。この辺の多摩川で一昔早くできた橋は多摩橋です。牛浜の方が五日市へ通じていたので、牛浜に近い所につくっていただいたが、だめでした。

「水田はどうでしたか」

たんばは昔は洪水がでるたびに流されおまけに福生分と秋多町分

の境がはっきりせずよく争いがおこりました。町長の自家の先々代の石川弥八郎さんの骨折りで境界もはっきりし、土手を築いてくれたので水田もよくなりましたが、何しろ荒地で、お米のかわりに桑を植えて、かいて、をやる人が多かった。その土手に桜を植えて、熊川の人には土手で花見をしたのもです。

現在は吉沢さんの近くに二・三本残っているだけです……最近また植えたそうですが大事にしたいですね。

「牛浜にはお地藏様がありますか」

むかし厄除けのために清盛院からゆづり受けて、厄除け地藏としてできたものです。以前は毎年芝居をやったものです。

「お祭りは盛んでしたか」

牛浜には御輿がないので、八月の祭りには、福生の御輿が立派な万灯といっしょに熊川牛浜までかつぎ廻ったものです。

こともの頃、せめて万灯だけでもかつぎたいと思ひ、みんなで作ったがどうしてもうまくいかず、たまたま中福生の角さんという人が牛浜にいたので手伝ってもらい、やっとうまくでき、それをかつぎ廻ったものです。

今はお祭りもさびれて、そのかわり婦人会がおどりをやっていますが、変わったものです。

「若い頃の事で印象に残っているものは……」

「狐の嫁入です」これはその土手に行くとき、ちようちんの灯りがいくつも見える。近くに行くときたその先に同じように見える。この人は信用しないが、本当にこの眼でみたのです。全く不思議なものでした。

「明治の頃の熊川村の様子は」

- 奥多摩街道をいひ点々と家があり、あとは一面桑畑でした。
- つぎの場所は眺めよく無川八景としてみんなに親しまれました
- ▽今の自治会館の所
- ▽牛浜の坂
- ▽下の川の水車と柳(幸楽園下)
- ▽真福寺のつり鐘(當時ほかにはなかった)
- ▽拜島日光橋の桜
- ▽南の鷹塚
- ▽熊川神社
- ▽はけからの見晴し(五日市線鉄橋入口)

「今年明治百年をむかえて思うことは……」

日本はよい国です。冬乾草し、夏は草木が繁る。だから作物はみどり、お米はよくとれる。だから人間も偉い人が生れる。日本は本当によい国です。

渡辺さんは八十九才とは思えないほど元気で記憶力もよく、なつかしもうに昔を語ってくれました

明治、大正、昭和と福生町の変わり行く姿を見守ってきた五尺そこそこの身体には、町の歴史がそのまましみこんでいるようでした。